

# 研究協力をお願い

昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

連鎖球菌感染症の経年推移と原因感染巣についての調査

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2021年12月31日までに昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院に入院し連鎖球菌群が血液培養から陽性となった患者さん

## 2. 研究目的・方法

本来無菌である血液中に菌が侵入することを菌血症といいます。菌血症の治療法は原因となる臓器によって異なるため、感染を起こしている臓器を突き止めることが重要です。菌血症を起こした場合、その菌がどの臓器に感染を起こしやすいか、頻度が分かれば、原因となっている臓器の推定に役立つと考えられます。

昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院では、感染管理の一環として、血液培養陽性者を確認し、原因となっている臓器の推定を行っています。今回はそのうち連鎖球菌と呼ばれる菌が血液培養で陽性となった患者さんに着目し、2018年から2021年までの患者さんを対象に診療録を中心に性別、年齢、感染臓器、予後、年間の陽性者数の状況を調査します。

## 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2023年3月31日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ

性別、年齢、感染巣、予後、年間の陽性者数

## 4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の保護のため、取得した診療情報は各施設の個人情報管理責任者が個人の氏名、生年月日、電

話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、対応表を作成します。得られた診療情報、対応表は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。また、符号化した情報は各施設（提供元）より研究責任者（提供先）に送付されます。

提供元は、得られた全ての情報を本研究終了時に研究の中止または終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存・管理します。提供先は、得られた全ての情報を温 麟太郎の責任において研究終了後5年間保存・管理します。

得られた成果は、個人情報保護に配慮したうえで学会や論文に発表されます。

## 5. 研究組織

昭和大学病院

昭和大学病院附属東病院

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門

氏名：温 麟太郎

住所：東京都品川区旗の台1丁目5番8号

電話番号：03-3784-8777

研究責任者：温 麟太郎